

# 衆議院農林水産委員会ニュース

平成 30. 4. 5 第 196 回国会第 7 号

4 月 5 日（木）、第 7 回の委員会が開かれました。

## 1 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・齋藤農林水産大臣、磯崎農林水産副大臣、長坂内閣府大臣政務官、山田総務大臣政務官、堀井外務大臣政務官、野中農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 古川康君（自民）

- ・平成 30 年産からの米政策改革に伴う農家の不安に対しどのように応えていくのか。
- ・産地交付金の 2 割留保の運用について、平成 30 年度は見直すのか。
- ・近年の米価の上昇、米の直接支払交付金の廃止はそれぞれ農家の収入にどの程度の影響を与えるのか。

### 西田昭二君（自民）

- ・農泊地域を増加させるため、どのような取組を行っているのか。
- ・大和堆水域周辺における北朝鮮等外国漁船の違法操業に対しどのような対応をしていくのか。
- ・農業従事者の減少、高齢化が進む中で、老朽化した農業水利施設の整備をどのように進めていくのか。

### 江田康幸君（公明）

- ・中山間地域における担い手への農地の集積・集約化をどのように進めていくのか。
- ・肉用牛肥育経営安定特別対策事業（牛マルキン）の補填率 9 割の措置を継続的に実施していくべきではないか。
- ・需要に応じた生産を実現していくため、水田フル活用の予算を継続的に確保していくべきではないか。業務向け需要とのミスマッチをどのように解消していくのか。

### 亀井亜紀子君（立憲）

- ・公文書の改ざんが行われる背景について農林水産大臣はどのように考えているのか。
- ・緊急時に備えて家庭での米の備蓄を推進すべきではないか。
- ・主要農作物種子法の廃止の契機は何だったのか。農林水産省として同法が民間参入を阻害していると考えたのか。

### 後藤祐一君（希望）

- ・平成 30 年度の産地交付金の運用については柔軟に行うべきではないか。
- ・農林水産省における電子決裁の利用促進に向けた農林水産大臣の決意を伺いたい。
- ・T P P 交渉に係る文書の中に主要農作物種子法に関するものは存在するか。

### 金子恵美君（無会）

- ・主要農作物種子法廃止によって民間企業に優良種子が流出することは問題ではないか。
- ・花き文化振興のための別の補助制度を創設する必要があるのではないか。
- ・東京オリンピック・パラリンピックにおいて日本の花を世界に向けて発信すべきではないか。

### 田村貴昭君（共産）

- ・国は、諫早湾干拓開門問題に係る和解協議の決裂を想定して進めているのか。
- ・諫早湾干拓地における環境等の悪化に対処するために開門すべきではないか。
- ・これまで諫早湾干拓の潮受堤防排水門の開門に反対してきた農業者が、開門を求める訴訟を起こしたことに対する農林水産大臣の見解を伺いたい。

### 森夏枝君（維新）

- ・規格外野菜の利用について農林水産省はどのように考えているのか。
- ・農林水産省は食育の観点から子ども食堂をどのように位置付けているか。
- ・農林水産省、内閣府において子ども食堂にどのような支援を行っているのか。

## 2 森林経営管理法案（内閣提出第 38 号）

### 独立行政法人農林漁業信用基金法の一部を改正する法律案（内閣提出第 39 号）

- ・ 齋藤農林水産大臣から提案理由の説明を聴取しました。
- ・ 参考人から意見を聴取することに協議決定しました。